

2019年9月7日

神戸食品微生物科学協会 第31回ワンコインセミナー

残留タンパク検査キットを用いた 洗浄確認活用事例

株式会社 日研生物医学研究所
若原 由美子

洗浄効果の検証方法とは？

細菌検査	スワブ法とスタンプ法が一般的。 検査項目は、衛生指標菌として生菌数、大腸菌群など。 細菌汚染を的確に把握できる。
A T P 法	全ての生物が持つアデノシン三リン酸を汚れとして 測定する。 食品残渣や洗浄不良、残存細菌を有機物残渣量として汚れ の指標とする。
残留タンパク 検出法	タンパク誤差法による呈色反応で、汚れの有無を確認する。

自社商品の一例ではありますが…

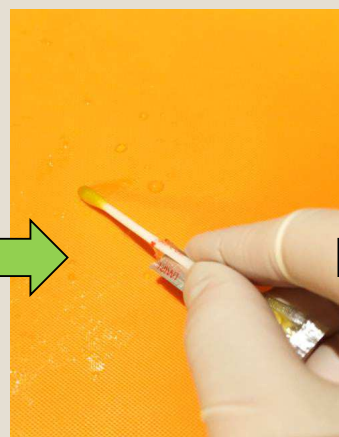
残留タンパク質に反応し、綿球部が緑～青緑に変色
綿棒に試薬を含んだ「**プロチェックE-W**」



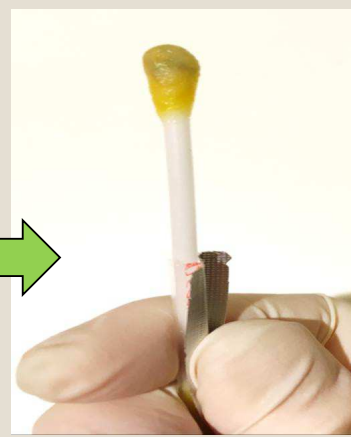
開封して



拭取って

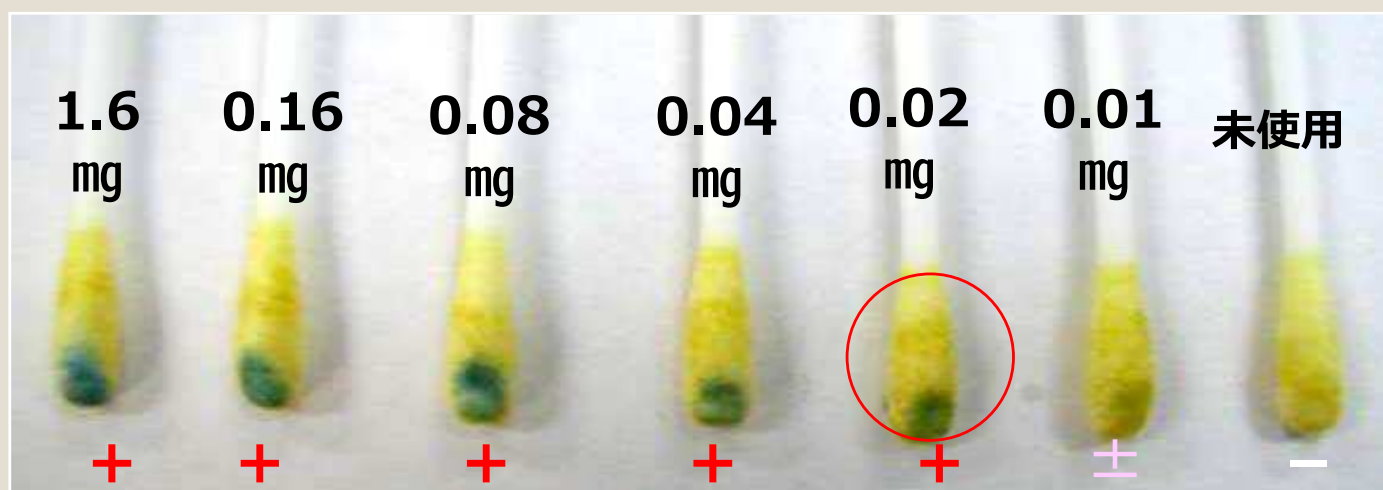


反応を見る



検出感度

牛血清アルブミン希釈液による反応色調



検出感度は 0.02 mg